神戸大学経済経営研究所
Research Institute for Economics and Business Administration, Kobe University

■コラム　RIEB ニュースレターNo.260　2024 年 8 月号

シンクロニシティ

神戸大学　経済経営研究所
特命教授　西村　和雄

2024 年の 4 月 4 日にこれまでの教育関係の論文をまとめた『学力と幸福の経済学』を日経 BP 社から出版した。『分数ができない大学生』の出版につながった論文から第 14 章の思考タイプと学力や職業に関する論文まで、基本的モラル、日本人の幸福度の調査論文などを交えた論文集である。

この書のゲラの最終段階で、現在もカリフォルニアで影響力を持つ「ソフト数学」の動きと闘っているというアメリカの大学教員から、「私は、あなたが日本の数学教育のためにしたことを尊敬しています。歴史はあなたの献身と貢献を記憶するでしょう。」というメールをもらった。知らない人であったが、この人のグループのサイトで、20 年前に私が取材された多数の英文記事をのせて、自学自習教材に関する日本語の紹介を英訳などもしてくれている。20 年以上前には、ソフト数学とよばれる数学教育が、カリフォルニアを中心に実践されていて、私の友人の数学者加藤五郎カリフォルニア州立大学教授は、それを嫌って、自分の子供を自宅で学習させる「ホーム・ティーチング」を選択し、公立学校に通学させなかったほどである。

今回メールをもらったのは、若い世代であり、現在のソフト数学と闘っている人だ。カリフォルニア州教育委員会では、2023 年 7 月に、「カリフォルニア数学フレームワーク」を可決し、従来は、学力の高い子はより進んだ数学を学習するクラスに入ることが可能であったが、それを廃止して、公立学校の数学教育を低いレベルでより画一的なものにした。教育制度の違いによる差を別とすれば、日本でゆとり教育を進めていた時期に、さらにゆとりを進める指導要領を実施した 2002 年の状況にある意味で似ているのだ。

それはともかく、この本の出版に関連して、ある種、偶然ともいうべき出来事を思い出した。その 2 つの偶然について書いてみたい。

一期一会

1973 年にアメリカに留学した私は、翌年の 5 月に日本に帰国する機会があった。サンフランシスコから羽田に行くチャーター機を利用したのだが、乗客の中に、アメリカ人の若い（10 代後半の）女性と日本人の男性のカップルがいた。男性が、カウボーイの恰好をしていて目立っていたので、記憶に残っていたのである。同じカップルは、日本からアメリカに戻るときも一緒であった。その年の 9 月に、留学先の大学に戻り、キャンパスを歩いていると、向こうからカウボーイの恰好をしたその男性が歩いてきた。私は思わず声をかけずには

いられなかった。その人が、ロチェスター大学の数学科の大学院に進学したばかりの加藤五郎さんであった。

それから 13 年後の 1987 年に、私は、京都大学経済研究所に教授として赴任した。当時助手であった八木匡現同志社大学教授が、学内の掲示板で「英語論文のネイティブチェックを致します。」という掲示を見て、連絡をしたところ、男性が「西村という経済学者を知りませんか」と聞いてきたとのこと。奥さんの代わりに、論文をとりに来た加藤さんであった。カリフォルニア州立大学からオンリーブで、京都大学数理解析研究所を訪問していたのだった。ちなみに、数理解析研究所は京都大学経済研究所と別なキャンパスにある。1974 年のロチェスター大学のキャンパスで、1987 年の京都大学のキャンパスで、どちらもめったにない出会いであった。

偶然の一致？

私は脳科学の分野でも論文を書いていて、その共同研究者の一人が教えてくれた『ビジュアル・シンカーの脳』を注文し、届いた本を大学で受け取り、カバンに入れて家に帰った。6 月 5 日のことである。300 頁を超える翻訳書である。著者のテンプル・グランディンは、自らも自閉症をもつコロラド州立大学教授で、その世界では有名な研究者である。その日は、何故か寝付けなくて、夜中の 2:00 頃に、布団を出て、カバンに入れてあったその本を手に持って、パラパラとめくってみた。その時、「日本で・・・神戸大学西村和雄教授」という文字が目に入ったような気がした。気のせいかとも思ったが、改めて本を開いて読み直すと、

「日本で 2015 年に行なわれた研究では、視覚思考と言語思考に関連する脳の活動を調べた。神戸大学の西村和雄教授の研究グループは、有名な寺、星占いの 12 星座と私的な会話の三つを被験者に交互に思い出してもらい、それにともなう神経系の活動を測定した。その結果、「個人の視覚心像（経験や記憶などをもとに心の中でイメージを思い浮かべたもの）の主観的な『鮮明度』と視覚領域の活動に大きな相関関係がある」ことがわかる。測定しているあいだ、視覚思考者はイメージを思い浮かべ、言語思考者は独り言を頼りにしていることが、脳磁図（MEG）から明らかになった。」

と書いてある。それは、2015 年の Neuroscience Letters に掲載された、私の論文の紹介であった [1]。経済理論の論文が引用され、紹介されることはあっても、脳科学の論文が紹介されることは先ずなかった。もし、私の論文の共同研究者が、『ビジュアル・シンカーの脳』という本があることを教えてくれなかったら、もし、私がこの本を注文しなかったら、もし、6 月 5 日の夜に早く寝ていたなら、この本の中で自分の論文が紹介されていることに気がついていなかったであろう。

共時性

「シンクロニシティ」とは、乃木坂 48 の歌にある。「世界中の人が誰かのこと思い浮かべ

---

[1] Kazuo Nishimura, Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga, Sunao Iwaki "Brain activities of visual thinkers and verbal thinkers: A MEG study," Neuroscience Letters 594, 6 May 2015, Pages 155–160.

遠くの幸せ願うシンクロニシティ」と歌詞で言っている。ちなみに、「シンクロニシティ」という男女のコンビの漫才師がいるが、これは、男女のコンビの女性の「よしおか」が、中学時代にシンクロナイド・スイミングをしていたことが理由のようである。日本語では、「共時性」と訳されることが多い。果たして、上に挙げた 2 つの例は、「単なる偶然」だろうか、それとも「意味のある偶然」なのであろうか。